

# ノーサイド

北 原 巖 男

を危うくするものにほかなりません。採用活動に取り組んでいる担当者の皆さんには、これまでにない危機感を感じます。

こうした中、防衛省・自衛隊の隊員募集の困難さは、さらに危機的だと思えます。

新しい「防衛計画の大綱」、「中期防衛力整備計画」の下で、複雑多様化・高度化する任務にこえて行ける有為な人材の確保は、自衛隊存立の根幹に関わる焦眉の急です。

激しい人材争奪戦。今年も来年3月卒業予定の大学生たちの就活が始まりました。なんとこの段階で、およそ5〜8%の学生が内定をもらっているとの報道もあります。完全な売り手市場なのです。

学生にとっては、より良い就職先を選択する余地が大いなのですが、それだけに選ばれる側の企業等は必死です。

人材不足は企業等の存在感から、自衛隊員

去・削除されました。この

であることの誇りは伝わって来ませんし、いわゆる「おじさん」的感覚がにじみ出

は謙虚に共有する教訓としなければなりません。

しかし、決して委縮して

これを機に、大いに建設

的かつ意欲的な魅力ある募

集活動に邁進していただき

日本経済新聞(2019年1月21日)は、8つの機

の信頼度を尋ねた世論調査の結果を公表しています。

「平成は災害が相次いだ。過酷な現場で被災者を救出した。避難所の支援をした。」

「あなたのような人が、自衛隊員として頑張っている自衛隊なのですね」

「あなたのような人が、自衛隊員として頑張っている自衛隊なのですね」

国民の皆さんから信頼されることほど嬉しいことはありません。やりがいもあります。

同時に、テレビ等で大きく報じられる災害派遣活動のみならず、実は今の平穏な時間帯も、24時間体制で我が国の平和と安全を

守るため、黙々と任務の完了に努めている沢山の隊員が、皆さんが頑張っていることに深くであるかを如実に示しています。

もちろん、自衛隊員については日本国籍を有する者でなくてはなりません。隊員の募集環境が、これから厳しくなる一方であることは火を見るよりも明らかです。

募集年齢の引き上げ、女性自衛官の増員に留まらない、思い切った幅広く重層的な魅力化対策・募集施策の早急な検討・導入が求められます。

北原 巖男

(きたはらいわお)

元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現(一社)日本東ティモール協会会長。(公社)隊友会理事

元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現(一社)日本東ティモール協会会長。(公社)隊友会理事

## 売り手市場